

令和4年度第2回座間市地下水保全連絡協議会 会議録

- 1 期 間 令和4年12月14日（水）～令和5年1月20日（金）
- 2 場 所 書面会議
- 3 出席者 委 員 岩田会長、小俣副会長、室星委員、小林委員、原委員、山田委員、  
渡邊委員、田川委員  
事務局 環境経済部長、環境政策課長、環境政策課副主幹兼環境保全係長、  
主事2名
- 4 公開の可否 公開 一部公開 非公開
- 5 議 題
  - 1 令和4年度地下水・湧水中の有機フッ素化合物分析委託等の結果について
  - 2 次回以降の調査について
  - 3 湧水ざまップの改訂について
  - 4 令和5年度当初予算編成における座間市地下水保全対策基金の活用について
- 6 資 料 ・次第
  - ・有機フッ素化合物調査結果（令和4年9月実施分）
  - ・今後の有機フッ素化合物調査予定
  - ・湧水ざまップの改訂に伴う意見聴取シート
  - ・座間市地下水保全対策基金の活用について

## 7 会議の結果及び主要な意見

議題1：「令和4年度地下水・湧水中の有機フッ素化合物分析委託等の結果について」

(概要)

本年度実施した市内の有機フッ素化合物分析について、市内6地点の地下水・湧水と2地点の河川を9月に採水をした結果が出ましたので報告いたします。9月15日に採水した地下水・湧水の結果は、相模が丘の井戸でPFOS及びPFOAの合算値が18ng/L、ひばりが丘の井戸で16 ng/L、南栗原の井戸で18 ng/L、南栗原の湧水で10 ng/L、緑ヶ丘の井戸で6.2 ng/L、新田宿の井戸で10 ng/Lとなり、6地点すべてで暫定目標値を下回りました。9月29日に採水した河川については、鳩川に流れ込む平和橋下流流入排水路で180 ng/L、目久尻川の寒川橋で32 ng/Lとなり、1地点で暫定目標値の超過が見られました。

議題2：「次回以降の調査について」

(概要)

### ①地下水・湧水について

本年第1回地下水採取審査委員会において、同一地点を水量の多い夏場と水量の少ない冬場で行うべきとの御意見を基に、夏場に採水した地点と同地点において令和5年1月に採水を行う予定です。また、令和5年度以降の調査地点については、今後、神奈川県が行った継続調査の結果等も踏まえ、次回以降の地下水採取審査委員会で改めて協議していきたいと考えています。

### ②河川について

同第1回地下水採取審査委員会において、目久尻川と鳩川ともに、下流の1地点で年1回の調査を行うべきとの御意見を頂きました。今後、神奈川県が行った継続調査の結果等を踏まえ、次回以降の地下水採取審査委員会で改めて協議していきたいと考えています。

### ③鳩川平和橋下流流入排水路について

本年9月の調査において、鳩川平和橋下流流入排水路で暫定目標値を超えたことを受け、継続調査とともに、排水路の「下流」から「上流」にかけて調査地点を広げてさらなる分布状況の把握に努めることが必要ではないかと考えています。具体的な調査地点等は地下水採取審査委員会等、有識者の御意見を参考に検討したいと考えています。

(各委員からの意見)

委員	意見等	対応
岩田 会長	厚木基地の構内を流れる蓼川と後に合流する引地川が、この物質を拡散する役割を担っているように聞こえてきます。水路が地下水路を介してつながっている可能性もあります。排出の元を止めることが基本だと考えますが、日米の協定で手も足も出せないこともあると思います。新物質であり、新被害について高次元の認定を求める提言を近隣市で提言することも考えることはできないでしょうか。	環境省では、毒性評価情報の収集、検出状況の把握を進めるとともに、WHO(世界保健機関)等をはじめとする国際的な動向も踏まえて有機フッ素化合物の取扱いについて検討するとしており、現時点では被害についての報告はありません。今後も引き続き、国、県、及び近隣市の動向に注視するとともに情報収集に努めてまいります。
小俣 副会長	鳩川平和橋下流流入排水路について、令和4年9月の調査時の結果から明らかに他地点とは異なる値となっているため、記載のように今後の詳細な調査にて現状の把握と分析を進めていただきたい。	承知いたしました。
渡邊 委員	座間市での令和3年5月の調査で4地点中1地点で目標値を超過し、令和4年1月に超過地点の周辺4地点で調査を実施し、その際は超過地点はなかった。神奈川県が令和3年2月に実施した調査で鳩川水系で超過が見られ、座間市の令和4年9月の調査でも超過が確認されている(R3.2→85ng/L, R4.9→180ng/L)。地下水よりも河川での検出が多いため、鳩川での分布状況の確認は必要と考えます。また、地下水を水道原水としている事から、各取水場所での継続したモニタリングも必要と考えます。厚木基地や横須賀基地における流失事案もありますので、周辺施設での含有物の把握と管理状況の確認も必要と考えます。	鳩川における分布状況は引き続き、把握に努めます。また、地下水を水道原水としている各取水場所については、座間市水道局において、引き続き、モニタリングに努めます。さらに、市内事業所における有機フッ素化合物含有物の把握と管理状況の確認は、地下水の保全の実行性を高めるための効果的な方策の一つであると考えます。一方で市民並びに事業者の混乱も懸念されるなど課題を整理する必要があります。そのため、引き続き、研究を進めながら検討してまいります。
原 委員	鳩川平和橋下流流入排水路について、調査地点を広げることに賛同します。	承知いたしました。

### 議題3：「湧水ざまップの改訂について」

(概要)

「新・湧水ざまップ」(仮称)のコンセプトについては、全委員が「更新に伴う費用を最小限に抑えるため、現行の湧水ざまップのコンセプトは変更しない。ただし、鮮度の古いデータ(各湧水 pH 値及び湧水量)のみ更新する。」という意見に賛同された。また、マップ中の「各湧水の pH 値及び湧水量」の内容が14年前のものになっていることから、地下水保全対策基金を活用し、データ更新する調査費用(見積価格:1,485,000円)に充てることについても全委員が当該基金の活用に賛同された。

(各委員からの意見)

委員	意見等	対応
岩田 会長	データを更新してあることを大きく記載する。今回はそれに留める。	改訂に伴う具体的な記載内容については、今後検討いたします。
小俣 副会長	紙媒体で配布している今のスタイルのままです。よいと思いますが、紙面にQRコードを入れて、スマホを使って関連する動画や写真、地図を見られるようにする等、最新情報を更新できるように作成し、改訂しなくてもしばらく使える工夫をしたらよいと思います。	改訂に伴う具体的な記載内容については、今後検討いたします。
小林 委員	新しさをイメージできるように、次の刷新をお願いします。(1)湧水写真、地下水の流れや地質断面図など総合調査事業で更新した情報を取り込む。(2)湧水模式図、地質断面図、谷頭図の地層名称と地層の色を統一する必要があります。(3)子どもへの説明を、こどもが読んでも理解できるような内容にする。	改訂に伴う具体的な記載内容については、今後検討いたします。

議題4：「令和5年度当初予算編成における座間市地下水保全対策基金の活用について」

令和5年度地下水・湧水中の有害物質分析及びダイオキシン類実態調査委託事業（見積価格：1,098,000円）における、座間市地下水保全対策基金の活用について意見を伺ったところ、全委員が当該基金の活用に賛同された。